

2023 年度 第 3 回 10 月東大本番レベル模試 地理 採点基準

■ 単答記述問題

誤字，脱字，漢字間違いは 0 点。

■ 論述問題

- ① 「設問別加点基準」に基づき加点する。また，その他各問題の主旨に適した解答にも適宜加点する。ただし，満点を超える得点は与えない。
- ② 以下の「共通減点基準」に基づき減点する。

■ 共通減点基準

- ① 加点要素における誤字・脱字および漢字の間違いは 1 点減点。
- ② 下線の付け忘れは 1 問につき 1 点減点。
- ③ 指定語句不使用は，指定語句 1 つにつき 1 点減点。
(解答中のどこかで使用していればよい。
加点ポイントの脱落による減点がある場合は，それ以上の減点は不要。)
- ④ 字数オーバーは 1 点減点。

*減点しなくていい要素，その他の注意

- ① 地理用語に関して，漢字の新字体／旧字体や，スロヴェニア⇄スロベニア，パキスタン⇄パーキスタンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては減点はしない。
- ② 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は 0 点だが，減点はしない。
- ③ 加点項目は内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。
- ④ 文章が未完のものも減点しない。

■ 採点記号について

1. <□□□□> 加点ポイント
2. □□□□× 事実に誤認あり
3. □□✓□□ 誤字あり／脱字あり

■ 設問別加点基準

- 1) _____ 部分は必須キーワードであり、この表現がなければ当該加点ポイントにおける加点はしない。その他は同義であれば加点する。
- 2) ○○／△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。
- 3) 「② (①の説明として)」は、加点ポイント①を正解していなくても、加点ポイント②に該当すれば加点する。

第 1 問 (20 点)

設問 A

(1) 1 点 (完答)

イーレンナ川 エー長江 オーコンゴ川 (※ア, ウについては不問)

(2) 2 点

遅い春を迎えて、流域で生ずる大量の融雪水が一気に流入する。(1 行)

【加点ポイント】

① <1 点> 【流量が急増する時期】

- 春／初夏／6 月頃／5～9 月頃／冬の積雪が融ける時期
- ×夏

②<1 点> 【流量急増の要因】

- 融雪水の流入／雪が溶 (融／解) ける
- ×凍っていた河川が溶ける

(3) 4 点※ 【指定語句】 気温 用水 2 つ全て 下線付き で使用

☆☆ 指定語句不使用は、指定語句 1 つにつき 1 点減点。
ただし、解答中のどこかで使用していれば減点しない。
下線の付け忘れは、複数あっても「1 問につき 1 点」のみ減点する。

夏季に気温が上昇して蒸発量が増加するとともに、農業地帯である流域における農業用水の需要が高まって取水量が増加するから。(2 行)

【加点ポイント】

①<1 点> 【自然的理由】

- 気温の上昇／高温／夏

②<1 点> 【①の流量への影響】

- 蒸発量が増える／蒸発量が降雨量を上回る

③ <1 点> 【社会的理由】

- 農業用水の需要増／農業が盛ん／農業地帯である

④<1 点> 【③の流量への影響】

- (河川水の) 取水量の増加

※③④合わせて
「河川水を農業用水に利用する」 →2 点

(4) 4 点

人口増加による生活排水の流入で水質汚濁が生じるとともに、巨大ダム建設で土砂供給量が減少し、河口部で海岸侵食が起こる。(2 行)

①<1 点> 【社会変化】

○人口増加

② <1 点> 【①による課題】

- ・生活排水／排水／工業廃水／汚水流入 による
 - ・水質汚濁／水質汚染／水質の悪化
- } 2 つ揃って○1 点

③<1 点> 【構造物の建設】

○ダムの建設

④<1 点> 【③による課題】

- ・土砂供給量の減少／上流からの土砂が運搬されない
 - ・海岸侵食／海岸浸食／海岸線の陸側への前進／海進／海岸線の後退
- } いずれか 1 つで○1 点

設問 B

(1) 3 点

サハラ以南のアフリカでは、衛生面のリスクが高い乳幼児死亡率を招いている。また、感染症の蔓延が世界的流行に直結しやすい。(2 行)

【加点ポイント】

① <1 点> 【リスクの高い地域】

○サハラ以南のアフリカ／アフリカ中央部／アフリカ／サブサハラアフリカ

②<1 点> 【国単位の課題】

○乳幼児死亡率が高い／子どもの死亡率が高い

③<1 点> 【グローバルな課題】

○感染症が世界的流行に直結する／世界的感染症の発生源になる／パンデミックの発生源になる

(2) 3 点

湿潤だが人口・商工業が集中して用水の需要が極めて高い中核地域と、亜熱帯高圧帯の影響で夏に乾燥する地中海沿岸の農業地域。(2 行)

【加点ポイント】

①<1 点> 【分布の特徴 1】

○人口が集中（密集／多い）地域／商工業（工業／産業／経済活動など）が盛んな地域
／ブルーバナナに当たる地域

②<1 点> 【分布の特徴 2】

○地中海沿岸／地中海性気候の地域／イタリアやスペイン南部／地中海式農業が盛んな地域

③<1 点> 【②で水資源負荷が高い気候的要因】

○夏（夏季／高日季）に乾燥／夏の降水量が少ない

(3) a 1 点

集中豪雨の頻発

【加点ポイント】

○集中豪雨の頻発／ゲリラ豪雨の増加

※「短時間に多くの雨が降る回数が増える」意が汲み取れれば可

(3) b 1 点

極端な少雨

【加点ポイント】

○少雨／干ばつ／降水量の低下

(3) c 1 点

低地での土壌塩化（地下水の塩水化）

【加点ポイント】

○土壌塩化／塩害／地下水の塩水化

第 2 問 (20 点)

設問 A

(1) 1 点 (完答)

アーオーストラリア イーブラジル ウーアルゼンチン エーインド

(2) 3 点

暖流と偏西風による年中温暖で湿潤な気候が牧草の生育に適し、移民が導入した牧畜が冷凍船の利用で北半球にも市場を拡大した。(2 行)

【加点ポイント】

①<1 点> 【自然的要因】

- ・年中温暖（温和）で湿潤（降水がある）／西岸海洋性気候
- ・牧草が生育しやすい／年中牧草が生育する

} いずれか 1 つで 1 点

②<2 点 (1 点×2)> 【社会的要因】

- 移民（ヨーロッパ人／入植者）が牧畜を導入 →1 点
- 冷凍船の利用（普及）／冷凍船の発明 →1 点

(3) 4 点

イでは高温多雨の熱帯林セルバに火入れして牧場開発しているが、ウでは半乾燥のパンパを牧草地として利用している。(2 行)

【加点ポイント】

★①②は、(1)「イ-ブラジル」の正解を加点の前提とする。

①<1 点> 【イ (ブラジル) の植生について】

○熱帯林/熱帯雨林/セルバ/常緑広葉樹林

②<1 点> 【イの牧場開発】

○①に火入れする/①を伐採する

★③④は、(1)「ウ-アルゼンチン」の正解を加点の前提とする。

③<1 点> 【ウ (アルゼンチン) の植生について】

○パンパ/湿潤パンパ/温帯草原

④<1 点> 【ウの牧場開発】

○③を牧草地とする/③が放牧地となる

(4) 2 点

寒冷地が広がり、限られた農地は小麦など穀物生産に利用する。(1 行)

【加点ポイント】

①<1 点> 【カナダの土地利用の特徴】

○穀物生産が多い/耕地での小麦生産が多い

② <1 点> 【①の要因】

- ・寒冷である/冷帯に位置する/高緯度である
 - ・農地が少ない/農地が限られる/穀物 (主食) の生産が優先される
- } いずれか 1 つで○1 点

(5) 4 点

夏に高地放牧を行う伝統的な移牧を維持して、牧草と家畜が醸し出す美しい山村景観を守り、観光資源としての価値を高めるため。(2 行)

【加点ポイント】

①<2 点> 【アルプス地方の畜産の特徴】

○移牧が行われる/夏に高地放牧を行う/季節に合わせて家畜を垂直移動させる

②<2 点> 【畜産維持の必要性】

○美しい山村 (牧草地と小屋など) 景観を守る/牧草と家畜の牧歌的風景を守る
/移牧の家畜の移動風景を守る →いずれか 1 つで 1 点

○観光資源としての価値を高める/観光資源を守る (維持する) /観光客を呼ぶため
→いずれか 1 つで 1 点

設問 B

(1) 2 点

馬とらくだの荷役・乗用機能は、自動車の普及で需要を失った。(1 行)

【加点ポイント】

①<1 点> 【重要性が低下した家畜名】

- ・馬
- ・らくだ } 2 つ揃って○1 点

②<1 点> 【重要性低下の要因】

○自動車の普及／荷役（乗用）機能は自動車に取って代わられた

※自動車に触れられていないと加点無し

(2) 4 点

遊牧農家の定着化や集約的牧畜の拡大で、牧草地が劣化して砂漠化が進行したため、環境保全のため放牧を抑制する政策をとった。(2 行)

【加点ポイント】

①<2 点> 【政策の内容】

○放牧の抑制／禁牧や休牧／放牧地を草原に戻す／退牧還草

②<2 点 (1 点×2)> 【①の背景】

○草原の減少／牧草地の劣化／砂漠化の進行 →1 点

○遊牧農家の定着化（定住化）／集約的牧畜の拡大／過放牧 →1 点

第 3 問 (20 点)

設問 A

(1) 2 点

農業依存経済の下、子どもが家計を助けるがその死亡率は高い。(1 行)

【加点ポイント】

①<1 点> 【合計特殊出生率が高い理由】

○子どもが家計を助ける／子どもが働き手（労働力）となる／老後を子どもに頼る

②<1 点> 【背景やその他の理由】

- 農業依存経済である／主産業は農業である／多くの人が農業に従事する
 - 乳幼児死亡率が高い／子どもの死亡率が高い
- } いずれかで 1 点

(2) 2 点

避妊と人工中絶について否定的なカトリック信者の割合が高い。(1 行)

【加点ポイント】

①<1 点> 【文化的要因】

○カトリック信者が多い／国民の 8 割がカトリックを信仰する

×「キリスト教徒が多い」のみ

(次ページに続く)

②<1 点> 【①の特徴】

○避妊（人工中絶／家族計画）について否定的（認めない／禁じている）

(3) 3 点 ※[指定語句] 人口爆発 都市部 三人 3 つ全て 下線付きで使用

☆☆ 指定語句不使用は、指定語句 1 つにつき 1 点減点。
ただし、解答中のどこかで使用していれば減点しない。
下線の付け忘れは、複数あっても「1 問につき 1 点」のみ減点する。

人口爆発を解消すべく一人っ子政策が導入されたが、都市部を中心に少子高齢化が進み、現在は三人まで子を持つようになった。(2 行)

【加点ポイント】

①<1 点> 【中国の合計特殊出生率が低い理由】

- ・ 人口爆発を解消するため／人口爆発となったため
 - ・ 一人っ子政策が導入された
- } 2 つ揃って○1 点

②<1 点> 【①の影響】

- ・ 都市部を中心に／都市部は特に
 - ・ 少子高齢化が進んだ／少子化が進んだ
- } 2 つ揃って○1 点

③<1 点> 【②による政策の変更】

○三人まで子を持つようになった／三人まで出産が許されている

(4) 1 点 (完答)

A－スウェーデン B－エチオピア C－韓国 D－パキスタン

(5) 3 点

育児と就労の両立を支える制度や社会的環境が整うスウェーデンに比べ、それらが遅れた韓国では出産を機に退職する女性が多い。(2 行)

【加点ポイント】

① <1 点> 【韓国の合計特殊出生率が低い理由】

○韓国では出産（結婚）を機に退職する女性が多い
／スウェーデンでは出産（結婚）を機に退職する女性が少ない

②<1 点> 【女性が仕事を続ける制度について】

○育児と就労の両立を支える制度／保育園の整備／育児休業制度／児童手当制度

③<1 点> 【②についてのスウェーデンと韓国の違い】

○スウェーデンは制度が整うが韓国は遅れている／スウェーデンの方が韓国より法整備が進んでいる

設問 B

(1) 2 点

X 世代の出生期には戦時中の出産控えの反動と男性の復員が重なり、Y 世代の出生期には X 世代の人々が親となる適齢に達した。(2 行)

(次ページに続く)

【加点ポイント】

① <1 点> 【X 世代の背景】

- 戦時中の出産控えの反動／戦後の男性の復員（戦地からの帰還）／戦後の経済復興
×「戦後／第一次ベビーブーム」のみ

②<1 点> 【Y 世代の背景】

- X 世代の人々が親となった／X 世代が結婚・出産する年齢になった
(※「Y 世代の親が X 世代／X 世代の子が Y 世代」だと読み取れば可)

(2) 3 点

開発初期に一斉入居した働き盛り世代の子どもたちのために建てた学校の数が、彼らが一斉に学齢を過ぎたことで、過剰になった。(2 行)

【加点ポイント】

①<1 点> 【1960 年代から学校が新設された背景】

- 働き盛り世代が一斉に入居した／若い夫婦が一斉に入居した／子育て世代が一斉に入居した

②<1 点> 【近年の事情】

- ①の子どもが一斉に学齢を過ぎた／①の子どもが成長して卒業した

③<1 点> 【学校の統廃合の理由】

- 学校の数が過剰になった／1 校（1 学年）当たりの生徒数が少なくなった

(3) 4 点 ※[指定語句]

教育機会 将来の収入 格差

 3 つ全て 下線付きで使用

☆☆ 指定語句不使用は、指定語句 1 つにつき 1 点減点。 ただし、 <u>解答中のどこかで使用していれば減点しない。</u> 下線の付け忘れは、複数あっても「1 問につき 1 点」のみ減点する。

低収入世帯は教育費が少なく、子どもの受ける教育機会が限られて将来の収入も低くなりやすいため、世帯間の格差が更に広がる。(2 行)

【加点ポイント】

①<1 点> 【表から読み取れる傾向】

- 低収入世帯は教育費が少ない／平均月収が少ない階級ほど教育費の支出が少ない
／高収入世帯は教育費を多く支出できる

※以降の採点についての前提

「収入の格差が」「教育機会の格差拡大を生み出し」→それにより「将来の格差拡大につながる」という論理展開が成立（3 要素があり、因果関係が明示されている状態）していれば、①とは別に 3 点加点。それを満たさない場合は、以下の加点ポイントに準ずる。

②<1 点> 【表から読み取れる傾向】

- 低収入世帯の子どもは教育機会が限られる／低収入世帯では塾などの教育機会が十分でない
／高収入世帯の子どもは教育機会が多い／高収入世帯では塾などの教育機会が十分に与えられる

(次ページに続く)

③<1点>【①②の影響】

- 低収入世帯の子どもは将来の収入が低くなりやすい
／高収入世帯の子どもは将来の収入が高くなりやすい

④<1点>【③の影響】

- 世帯間の格差が更に広がる／現在の格差が将来にも引き継がれる